

2022年3月27日

緊急声明

ウクライナへの軍事侵攻は即時停止を、戦争反対です

NPO 法人 IBD ネットワーク

2月22日の進攻に始まったウクライナへのロシアによる侵略は、大きな驚きと平和が崩れていく強い不安を感じるものでした。それは非人道的で理不尽なものであり、断じて許せるものではありません。それぞれの国の主権はそれぞれの国にあり、他国から武力で脅かされることがあってはなりません。日本国憲法の前文には「われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。」とあります。日本政府は、この平和的生存権に基づき、ウクライナへの軍事侵攻を即時中止するよう、ロシアに強く求める必要があります。

ウクライナには2015年時点でHBK(非特異的潰瘍性大腸炎)の患者9,023人、クローン病(XK)の患者2,054人、人口10万人あたりの有病率はそれぞれ21.1、4.8とのこと。

<https://gastro.zaslavsky.com.ua/index.php/journal/article/view/292>

[Stepanov YM et al. (2017) Gastroenterology 51:97-105.]

そしてウクライナのIBD患者団体:炎症性腸疾患患者の協会「フルライフ」のホームページの最終更新日は2022年2月23日、ロシア侵攻の翌日で止まっています。

戦争は、多くの人のいのち、人権を奪います。そして被害は一般市民に及び、その中には治療を必要とする病気を持つ人たちが含まれます。

病院も破壊され物流が滞っているという報道もあり、戦争の長期化とともに現地のIBD(潰瘍性大腸炎・クローン病)を持つ人、そして全ての病気を持つ人が必要な治療を受けられない事態となっているのではないかと強く懸念しています。また難民となり他国に逃れた人たちもまた十分な医療を受けられない可能性があります。

国を超え私たちはつながっています。戦争は、世界中すべての国の社会・環境、人々の平和な生活に対して深刻な影響を与えていきます。

私たち NPO 法人 IBD ネットワークは、平和と民主主義を求めるウクライナの人びと、戦争に反対する世界中のたくさんの人々と連帯して、ここから訴えます。

NO WAR！ 戦争反対！ 即時停戦！